

第3次中期計画

「夢」を描き、
「夢」を語り、
「夢」を創る学園へ



金井学園

福井工業大学

福井工業大学附属
福井高等学校

福井工業大学附属
福井中学校



金井学園

Kanai Educational Institution

建学の精神

基本理念「すべてを学生・生徒のために」

中期ビジョン

金井学園 「夢」を描き、「夢」を語り、「夢」を創る学園へ

福井工業大学	<p><将来像>地域とともに歩みながら学生と教職員が深化し続ける福井工業大学</p> <p><重点方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ●可能性を育む教育・研究活動の推進 ●地域協創拠点としての役割の推進 ●社会のニーズに応じた広報による「魅せる化」の推進
福井高等学校・中学校	<p>見つける、伸ばす、認められる</p>
法人本部	<p>リーダーシップを発揮し、各学校の「夢」の共有と協働を実現する</p>

戦略分野

福井工業大学	福井高等学校・中学校	法人本部
1. 教育の深化	1. 戦略的な入試広報	1. Branding
2. 研究の深化	2. 教育の深化	2. Change Our Mind
3. 地域連携の深化	3. グローバル化の推進	3. Peace of Mind
4. 学生支援の充実	4. 教育環境・教育支援の充実	
5. グローバル化の推進	5. 中高大連携の推進	
6. 中高大連携の推進	6. 学校改革の実現	
7. 大学院教育の充実		
8. 戦略的な広報		
9. 質保証と情報公開		

■ 核となる戦略 ■ ■ 核を強化させる戦略
■ 外部アピールを強化する戦略

金井学園

「夢」を描き、
「夢」を語り、
「夢」を創る学園へ

私たちは、学園に関わる一人ひとりの可能性を広げることで「夢」を描き、信頼できる仲間達とそんな「夢」を語り合い、全力で支援することで「夢」を創る・叶える、そんな学園（キャンパス）でありたいと考えています。

学生生徒一人ひとりの「夢」に真剣に向き合い、全力で支援し、叶える喜びを共感しあいます。さらに、地域住民の皆さまに寄り添い、本学の教育・研究の成果を、公開講座等を通して還元し、親しみやすい生涯学習の場として提供していきます。

私たちは、自らの可能性を発展させながら、皆さまから愛され、支持される学園を創り上げます。

福井工業大学

地域協創 × 総合大学
地域とともに歩みながら
学生と教職員が
深化し続ける
福井工業大学

学生全員が充実した学生生活を送り、卒業時には大学で過ごした4年間を誇りとして、社会へ羽ばたけるようにします。そして、学生達が様々な教育・研究活動を通じて人間力を高め、地域に貢献できる人材(人財)となれるよう、私たちは学生の無限の可能性を引き出すための取り組みを惜しみなく進めていきます。

また、本学が取り組んでいる地域に根ざした教育研究の成果を高校生、保護者、地域住民、地元企業から評価していただけるように、今まで以上に発信し伝えていきます。

福井高等学校・福井中学校

見つける、
伸ばす、
認められる

中学校・高等学校の6年間は、人格形成の時期とも言われます。また、社会性を身に付ける大切な時期でもあります。私たちは、お預かりする生徒たちに寄り添い、ひとりひとりの良いところを見つけ、その良さを伸ばしていくことで、周りの人に認められ、自信を持って未来を切り開いていくことができる人材へと育てていきます。また、私たち教職員自身も地元福井の皆さまから愛され、認められる存在となるようより一層努力してまいります。

法人本部の「夢」とは、各学校の「夢」の実現です。各学校に歩み寄り、リーダーシップを発揮することで「夢」の実現を力強く推進します。法人本部職員一人ひとりがその意識と自覚を持ち、確実な仕事と責任を持って、各学校の期待に応えます。

リーダーシップを発揮し、
各学校の「夢」の共有と
協働を実現する

法人本部

地域ステークホルダーと協力し、
創造する

地域協創



総合大学

文理融合型の
総合大学のイメージを定着化する

地域とともに歩みながら学生と教職員が深化し続ける福井工業大学

核を強化させる 4つの戦略

内部を強化させる7つの戦略

核となる 3つの深化

研究は、教員の質を高めるための過程であるとともに、その成果は、地域に還元できるものであることが求められる。研究の内容を深化させ、地域貢献に役立つ研究を推進する。



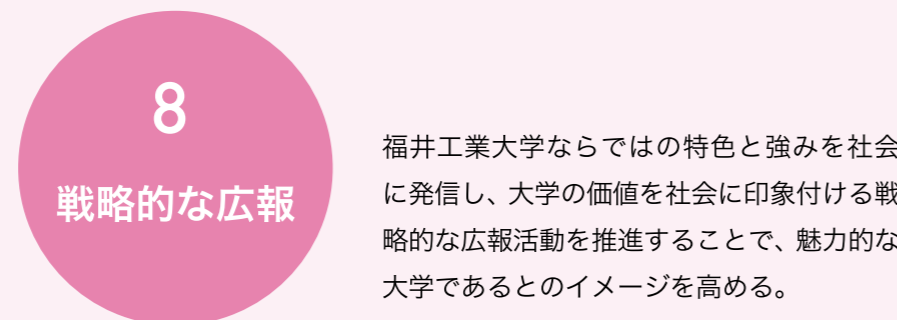
学生満足度を向上させるために、学生が意欲をもって学業や課外活動に取り組める環境を充実させる。併せて、主体的な学生に対する育成プログラムの開発、学生へのサポート体制の強化、自立に向けたキャリア形成支援の充実を図る。

自らの国や地域の伝統、文化について理解を深め、異なる文化の人々とともに生きる寛容な精神を有し、英語によるコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的に教育研究を推進することで国際社会に貢献する大学を目指す。

高度な専門知識と先進技術の修得ならびに持続可能な地域づくり、地方創生を牽引できる研究・技術者の養成を図る。そのためにも、学部からの一貫した教育の推進、社会人教育の推進を行うとともに、大学院教育の実質化を図る。

学園の特色および学園内の繋がりを活かした生徒・学生に有益な教育・交流プログラムを提供する。そのためにも、教職員が互いを知り、学園全体で生徒・学生を育てていく。

外部アピールを強化する 2つの戦略



三つのポリシーを起点とする教育の質保証と中長期的な計画を踏まえた大学全体の質保証について、教職協働で、改革・改善を推進する。



中期
ビジョン

見つける、伸ばす、認められる

核となる戦略

核を強化させる
3つの戦略

付加価値を向上させる 4つの戦略

2

教育の深化

各学校において、生徒や保護者のニーズに対応し、満足度を高めていくためにより良い教育体制の構築を目指す。そのために、各学科・各コース・各分野ならではの付加価値を明確化し、授業内容や資格取得環境をより充実させるとともに生徒一人ひとりが文武両道を実現できる学習支援体制を確立していく。また、中高一貫教育をより魅力あるものにし、地元を中心に成績優秀児童やその保護者から選ばれる学校となることが最重要課題である。そのために、6年1サイクルでのカリキュラム確立、経験豊かな専属教員陣の配置、国際化に対応するためのグローバル体制を構築していく。さらには、リーダー育成も重視し、特色ある行事や活動の中で生徒一人ひとりの主体性を育む自治活動を強化していく。

学習、生活、進路、部活動などすべての学校環境を整備することにより、生徒の学習に対する満足度と学力の向上、生徒保護者に安心感を与えられる学校生活環境・教育相談体制、生徒の夢を叶える継続的な進路指導、そして生徒の実力を最大限発揮できる部活動環境の提供を実現する。さらに生徒の学力と人間性を高める最大の方策は「人」と捉え、生徒に最も近い存在である教員の資質と意欲の向上を図る。

3

グローバル化の
推進

現代のグローバル社会においては、他国との違いを知り、理解の幅を増やし、違いを受け入れる懐を深くすることが求められる。そのためには、実際に外国人と触れ合い、異文化理解を深める必要がある。さらに絶対的に必要である英語力を高めるために、日常的に英語を聞く、話す環境を整備する。また、ハングリー精神の強い外国人と競い合っていくために、実際に海外生活経験をさせることで自己主張する力を身につけさせる。

4

教育環境・
教育支援の充実

5

中高大連携の
推進

大学卒業後を見据えた中高大連携の教育体制の構築を目指す。また、教職員及び保護者が相互に協力し合うことにより、学生、生徒の人格の育成、及び学力を兼ね備えた魅力あふれる人材を輩出していく。さらには、中・高・大・大学院間の連携を深めることにより、内部進学者の質の向上を図る。

募集力強化の
ための戦略

魅力あふれる福井中・高を正確かつ効果的に発信することで選ばれる学校としての地位を確立する。そのために、全教員の共通理解を図り、統一された広報活動、ニーズに応じた発信方法を展開する。また、中高大の内部連携を強化し、さらに、塾、県外へのアプローチを行うことで、優秀な人財を確保するための広報活動を実施する。

1

戦略的な
入試広報

6

学校改革の
実現

県内において、同じ敷地内に「中高大」と、心身共に発達著しい時期にある子供たちの10年間の成長を見守ることのできる施設が完備されているのは本学園だけである。この好条件を活かし、中高大教職員における情報共有・相互理解・情報交換もしくは多角的見地による意見交換など、その時代の社会的ニーズを捉えながら、来る10年間というスパンで学生生徒の教育課程に携わっていくことは本学の責務である。

組織力強化の
ための戦略

中期
ビジョン

リーダーシップを発揮し、 各学校の「夢」の共有と協働を実現する

重点特化する戦略

1
Branding

各学校の財産（学生生徒、教職員、施設・設備）から生まれる「夢」や「魅力」を結びつけて一体的な学園ブランドとして育てあげる。
学園ブランド創出のため効果的な戦略を立て、積極的な広報を展開できる体制を確立する。学園のブランドに対する学内外からの共感や信頼などを通して、学生生徒、教職員、ステークホルダーにとっての価値を高めていく。

核となる戦略（攻め）

2
Change
Our Mind

教職員一人ひとりが意識改革を行うことで自分の「夢」、学校の「夢」を広げる。
各学校と法人本部の役割・機能の相互理解を深めていき、教職員一人ひとりが自らの能力を活かす人財づくり、効率的で機能的な組織体制の構築を行っていく。また、優秀な人財の確保や能力や成果に応じた評価を実施する。学外の最新の情報を活かす意識や国際化推進のための意識を醸成していく。

核となる戦略（守り）

3
Peace of Mind

学生生徒、教職員一人ひとりの「夢」を実現するために安心できる基盤を強化する。
財務面では、収入の増加、支出削減を強化する。施設・設備面では、長期的な視点の維持管理と快適性、利便性の強化を図る。また、不測の事態を想定した危機管理体制の構築を行う。さらに、学園 IR とガバナンスを強化し、内部監査の高度化を進めることで、安定した学園運営に取り組んでいく。

平成 26 年度～平成 30 年度

(単位：千円)

教育活動収支	科目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
		事業活動収入の部	3,210,828	3,365,053	3,598,654	3,687,808
	学生生徒等納付金					
	手数料	47,666	53,689	55,990	50,612	48,244
	寄付金	103,866	55,343	127,765	55,704	173,558
	経常費等補助金	1,418,146	1,038,938	915,653	957,439	1,000,795
	付随事業収入	29,798	41,443	89,004	62,279	50,001
	雑収入	130,339	136,017	152,880	151,288	90,731
	教育活動収入計	4,940,643	4,690,483	4,939,945	4,965,130	5,063,976
事業活動支出の部	科目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	人件費	2,460,974	2,493,331	2,527,142	2,524,421	2,471,410
	教育研究経費	1,899,192	2,066,645	2,443,743	2,435,491	2,796,462
	管理経費	1,115,105	615,554	684,853	720,311	809,706
	徴収不能額等	5,198	18,555	8,784	14,844	19,324
	教育活動支出計	5,480,469	5,194,085	5,664,521	5,695,067	6,096,902
	教育活動収支差額	△ 539,826	△ 503,602	△ 724,576	△ 729,937	△ 1,032,926
教育活動外収支	科目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	事業活動収入の部	653,173	324,741	194,409	172,864	75,218
	受取利息・配当金					
	その他の教育活動外収入	0	0	187	0	0
	教育活動外収入計	653,173	324,741	194,596	172,864	75,218
事業活動支出の部	科目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	借入金等利息	5,555	3,384	1,501	549	36
	その他の教育活動外支出	0	0	0	36	0
	教育活動外支出計	5,555	3,384	1,501	585	36
	教育活動外収支差額	647,618	321,357	193,096	172,280	75,182
	経常収支差額	107,792	△ 182,245	△ 531,481	△ 557,658	△ 957,744
特別収支	科目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	事業活動収入の部	2,740,977	666,633	476,705	52,667	22,959
	資産売却差額					
	その他の特別収入	0	0	83,892	66,474	13,937
	特別収入計	2,740,977	666,633	560,597	119,141	36,896
事業活動支出の部	科目	平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	資産処分差額	7,817	324,837	129,955	26,924	339,080
	その他の特別支出	0	0	0	7	0
	特別支出計	7,817	324,837	129,955	26,931	339,080
	特別収支差額	2,733,160	341,796	430,642	92,210	△ 302,184
	予備費					100,000
	基本金組入前当年度収支差額	2,840,952	159,551	△ 100,839	△ 465,449	△ 1,359,928
	基本金組入額合計	△ 2,180,984	△ 2,322,518	△ 1,966,177	△ 471,859	△ 741,169
	当年度収支差額	659,968	△ 2,162,967	△ 2,067,016	△ 937,308	△ 2,101,097
	前年度繰越収支差額	△ 5,020,945	△ 4,360,977	△ 6,523,945	△ 8,590,960	△ 7,044,252
	基本金取崩額				2,484,016	
	翌年度繰越収支差額	△ 4,360,977	△ 6,523,945	△ 8,590,960	△ 7,044,252	△ 9,145,350
(参考)						
	事業活動収入計	8,334,793	5,681,857	5,695,138	5,257,135	5,176,090
	事業活動支出計	5,493,841	5,522,306	5,795,977	5,722,583	6,536,018

(注) 平成 26 年度の金額は従来の消費収支計算書を組み替えて表示しています。

第 3 次中期計画 5 ヶ年計画

—基本金組入前当年度収支差額の黒字化—

(単位：千円)

教育活動収支	科目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
		事業活動収入の部	3,659,115	3,560,512	3,517,818	3,482,282
	学生生徒等納付金					
	手数料	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	寄付金	110,000	120,000	130,000	140,000	150,000
	経常費等補助金	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000
	付随事業収入	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
	雑収入	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
	教育活動収入計	4,859,115	4,770,512	4,737,818	4,712,282	4,764,852
事業活動支出の部	科目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	人件費	2,501,410	2,531,410	2,561,410	2,591,410	2,621,410
	教育研究経費	2,410,022	2,194,471	2,008,387	1,841,391	1,695,409
	管理経費	679,820	623,903	575,307	525,342	480,350
	徴収不能額等	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	教育活動支出計	5,601,252	5,359,785	5,155,104	4,968,143	4,807,170
	教育活動収支差額	△ 742,137	△ 589,273	△ 417,286	△ 255,861	△ 42,318
教育活動外収支	科目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	事業活動収入の部	160,000	185,000	210,000	235,000	260,000
	受取利息・配当金					
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	160,000	185,000	210,000	235,000	260,000
事業活動支出の部	科目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	160,000	185,000	210,000	235,000	260,000
	経常収支差額	△ 582,137	△ 404,273	△ 207,286	△ 20,861	217,682
特別収支	科目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	事業活動収入の部	65,000	80,000	95,000	110,000	125,000
	資産売却差額					
	その他の特別収入	0	0	0	0	0
	特別収入計	65,000	80,000	95,000	110,000	125,000
事業活動支出の部	科目	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	資産処分差額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	特別収支差額	60,000	75,000	90,000	105,000	120,000
	予備費	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	基本金組入前当年度収支差額	△ 722,137	△ 529,273	△ 317,286	△ 115,861	137,682
	基本金組入額合計	△ 860,576	△ 409,047	△ 269,937	△ 242,495	△ 217,438
	当年度収支差額	△ 1,582,713	△ 938,319	△ 587,222	△ 358,356	△ 79,756
	前年度繰越収支差額	△ 9,145,350	△ 10,728,063	△ 11,666,382	△ 12,253,605	△ 12,611,961
	翌年度繰越収支差額	△ 10,728,063	△ 11,666,382	△ 12,253,605	△ 12,611,961	△ 12,691,716
(参考)						
	事業活動収入計	5,084,115	5,035,512	5,042,818	5,057,282	5,149,852
	事業活動支出計	5,806,252	5,564,785	5,360,104	5,173,143	5,012,170